

△ABC を底面とする.

点 D から平面 ABC に下ろした垂線の足を点 H とすると,

$$\vec{AH} = s\vec{AB} + t\vec{AC}$$

と表すことができ, $DH \perp$ 平面 ABC より

$$\vec{DH} \perp \vec{AB}, \vec{DH} \perp \vec{AC}$$

ちぎと
同じや (ん)

である.

$$\vec{AH} = s \begin{pmatrix} -2 \\ -2 \\ 0 \end{pmatrix} + t \begin{pmatrix} -3 \\ -1 \\ 4 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -2s - 3t \\ -2s - t \\ 4t \end{pmatrix}$$

$$\begin{aligned} \vec{DH} &= \vec{AH} - \vec{AD} \\ &= \begin{pmatrix} -2s - 3t \\ -2s - t \\ 4t \end{pmatrix} - \begin{pmatrix} 0 \\ -2 \\ 5 \end{pmatrix} \\ &= \begin{pmatrix} -2s - 3t \\ -2s - t + 2 \\ 4t - 5 \end{pmatrix} \end{aligned}$$

$$\vec{DH} \perp \vec{AB} \text{ より, } \vec{DH} \cdot \vec{AB} = 0$$

$$-2(-2s - 3t) - 2(-2s - t + 2) + 0(4t - 5) = 0$$

$$\therefore 2s + 2t = 1 \dots \textcircled{1}$$

$$\vec{DH} \perp \vec{AC} \text{ より, } \vec{DH} \cdot \vec{AC} = 0$$

$$-3(-2s - 3t) - 1(-2s - t + 2) + 4(4t - 5) = 0$$

$$\therefore 4s + 13t = 11 \dots \textcircled{2}$$

$$\textcircled{1}\textcircled{2} \text{ より, } s = -\frac{1}{2}, t = 1.$$

したがって,

$$\vec{DH} = \begin{pmatrix} -2 \\ 2 \\ -1 \end{pmatrix}$$

$$|\vec{DH}| = \sqrt{4 + 4 + 1} = 3$$

また, △ABC の面積は

$$\begin{aligned} S &= \frac{1}{2} \sqrt{|\vec{AB}|^2 |\vec{AC}|^2 - (\vec{AB} \cdot \vec{AC})^2} \\ &= \frac{1}{2} \sqrt{8 \cdot 26 - 8^2} \\ &= \frac{1}{2} \sqrt{144} = 6 \end{aligned}$$

よって, 四面体 ABCD の体積 V は

$$V = 6 \times 3 \times \frac{1}{3} = 6$$

■

注 ちなみに「点 H の座標を求めよ」と言われたら, \rightarrow よく聞かれますよ!!

$$\vec{OH} = \vec{OD} + \vec{DH} = \begin{pmatrix} 3 \\ 4 \\ 5 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} -2 \\ 2 \\ -1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 \\ 6 \\ 4 \end{pmatrix}$$

となるので, $H(1, 6, 4)$ となります. 求められるようにしておこう. (ん) はい

参考 平面の方程式を知っている人は, 平面 ABC の方程式を求めて, 「点と平面の距離の公式」を利用して高さを計算してもかまいません.

▷Point◁

点 (p, q, r) と平面 $ax + by + cz + d = 0$ の距離 l は

$$l = \frac{|ap + bq + cr + d|}{\sqrt{a^2 + b^2 + c^2}}$$

こんばん
しらんで~
(ん)

である.

一度やってみましょう.

別解 平面 ABC の方程式を求める.

$$\vec{AB} = \begin{pmatrix} -2 \\ -2 \\ 0 \end{pmatrix} \text{ と } \vec{AC} = \begin{pmatrix} -3 \\ -1 \\ 4 \end{pmatrix} \text{ に共に垂直な}$$

ベクトルの 1 つは $\begin{pmatrix} 2 \\ -2 \\ 1 \end{pmatrix}$ である. よって, 求める平面は点 $A(3, 6, 0)$ を通り, 法線ベクトルが

$\begin{pmatrix} 2 \\ -2 \\ 1 \end{pmatrix}$ なので 何のこただか サッパリ~ (ん?)

$$2(x - 3) - 2(y - 6) + 1(z - 0) = 0$$

$$\therefore 2x - 2y + z + 6 = 0$$

よって, 点 $D(3, 4, 5)$ から平面 $2x - 2y + z + 6 = 0$ に下ろした垂線の長さは

$$\frac{|6 - 8 + 5 + 6|}{\sqrt{4 + 4 + 1}} = \frac{9}{3} = 3$$

である. 以下, 略.

ひんぶんからんけど
高さが求まったみたい
(ん)
ふん

⇒注 $\vec{AB} = \begin{pmatrix} -2 \\ -2 \\ 0 \end{pmatrix}$ と $\vec{AC} = \begin{pmatrix} -3 \\ -1 \\ 4 \end{pmatrix}$ に共に垂

直なベクトルを求めるには「外積」という手法を利用します。「外積」については後ほど解説します。「外積」を使いたくなければ、求める平面の方程式を $ax + by + cz + d = 0$ とおいて、3点 A, B, C の座標を代入し、連立方程式

$$\begin{cases} 3a + 6b + d = 0 \\ a + 4b + d = 0 \\ 5b + 4c + d = 0 \end{cases}$$

を解くことになります。文字が4つに式3つなので、 a, b, c, d の値を決定することはできませんが、 $b = -a, c = \frac{1}{2}a, d = 3a$ というように1つの文字で表すことができるので、

$$ax - ay + \frac{1}{2}az + 3a = 0$$

$a \neq 0$ より、

$$2x - 2y + z + 6 = 0$$

と求まります。

こっちの方が
いっくらくまぬ
さん

それでは、最後にちょっと意地悪な問題を紹介します。次の問題はどのように解きますか？

例題 3 四面体 OABC の6つの辺の長さを

$$OA = \sqrt{10}, \quad OB = \sqrt{5}, \quad OC = \sqrt{6}, \quad AB = \sqrt{5}, \quad AC = 2\sqrt{2}, \quad BC = \sqrt{5}$$

とすると、四面体 OABC の体積を求めよ。

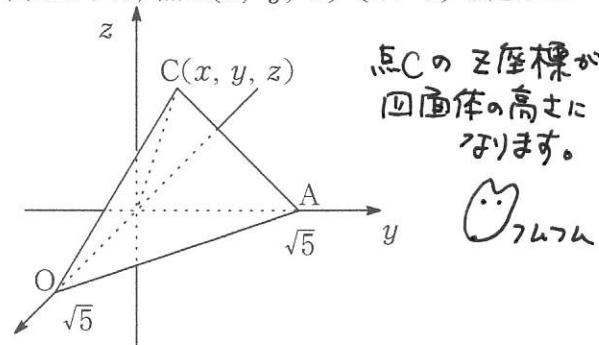
いまだと同じや？ ちがいの？

考え方 辺の長さをみれば、△OAB が直角二等辺三角形 になっているので、ここを底面に考えます。となれば、点 C から平面 OAB に下ろした垂線の足を点 H としたときの CH の長さが高さになります。

さて、**例題 1** と **例題 2** を振り返ると、四面体の体積をベクトルで求める場合、「内積」が key Point であることに気づくでしょう。垂線の長さを求めるには、どうしても内積を使わざるを得ないからです。**例題 1** は2つの辺の間の角が分かっていたので内積の値は簡単に計算できましたし、**例題 2** は成分表示だったので特に問題はありませんでした。さて、今回の場合、各辺の長さが与えられているだけです。内積の値を計算できなくともありませんが、底面が直角三角形であることに注目すれば、実はこの問題はベクトルを使わないほうが簡単に求められるのです。

解 △OAB が $\angle B = 90^\circ$ の直角二等辺三角形なので、 $B(0, 0, 0), O(\sqrt{5}, 0, 0), A(0, \sqrt{5}, 0)$ と座標を設定する。

図のように、点 $C(x, y, z)$ ($z > 0$) を定める。



$OC = \sqrt{6}, AC = 2\sqrt{2}, BC = \sqrt{5}$ なので、

$$\begin{cases} (x - \sqrt{5})^2 + y^2 + z^2 = 6 & \dots \text{①} \\ x^2 + (y - \sqrt{5})^2 + z^2 = 8 & \dots \text{②} \\ x^2 + y^2 + z^2 = 5 & \dots \text{③} \end{cases}$$

① - ③ より、 $-2\sqrt{5}x + 5 = 1. \quad x = \frac{2}{\sqrt{5}}$

② - ③ より、 $-2\sqrt{5}y + 5 = 3. \quad y = \frac{1}{\sqrt{5}}$

よって、③ より $z^2 = 5 - \frac{4}{5} - \frac{1}{5} = 4. \quad z = 2.$

$\Delta OAB = (\sqrt{5})^2 \times \frac{1}{2} = \frac{5}{2}$ なので、 **高さ!!**

$V = \frac{5}{2} \times 2 \times \frac{1}{3} = \frac{5}{3}$

座標、スゴイね さん

⇒注 もしベクトルを使って解くなら、始点を B にとるべきです ($\vec{BO} \cdot \vec{BA} = 0$ だから)。次に、

$$|\vec{OC}|^2 = |\vec{BC} - \vec{BO}|^2 = |\vec{BC}|^2 - \vec{BC} \cdot \vec{BO} + |\vec{BO}|^2$$

$$|\vec{AC}|^2 = |\vec{BC} - \vec{BA}|^2 = |\vec{BC}|^2 - \vec{BC} \cdot \vec{BA} + |\vec{BA}|^2$$

より内積 $\vec{BC} \cdot \vec{BO}, \vec{BA} \cdot \vec{BC}$ もわかります。あとは、**例題 1** と全く同じなので、各自で解いてみて下さい。

解きません。
はい 座標の方が良いぞ。

マジすか
さん